

鹿児島市商工業振興プランの概要1

1. 策定の目的

我が国は、景気の低迷が長期化するとともに、少子高齢社会の進行、経済のグローバル化、情報通信技術（ICT）の進展、地球環境問題の深刻化など社会経済情勢が大きく変化しています。

本市においても、このような変化に加え、平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業するなど、商工業を取り巻く環境は大きく変化しています。

本市は、これまで第三次産業を中心とした南九州の交流拠点都市として発展してきましたが、人口減少社会を迎え、都市間競争がさらに激化する中で、今後も本市商工業が持続的に発展していくためには、全線開業による効果を最大限に生かすとともに、社会経済情勢の変化や地域特性等を踏まえる中で、中長期的視点に立った商工業振興の取組みが必要となっています。

このような中、国においては、平成22年6月に、「環境・エネルギー」、「健康」、「アジア」など7つの戦略分野を掲げた「新成長戦略」を決定するとともに、経済の牽引役であり、地域社会の主役である中小企業がこれまで以上に創意工夫を重ね、果敢に挑戦できるような経済社会の実現を目指し、「中小企業憲章」を決定しました。

本市としては、このような国の動向等も踏まえる中で、地域経済の重要な担い手である中小企業を中心とした商工業の振興を図るため、その基本計画となる「鹿児島市商工業振興プラン」を策定するものであり、このプランを推進することにより、にぎわいと活力の創出、そして安定的な雇用の確保につなげようとするものです。

2. 位置付け

本プランは、鹿児島市総合計画の商工業分野の個別計画として、今後の本市商工業振興の基本計画となるものであり、市、国・県など関係機関、民間、大学等が一体となって取り組むものです。

3. 構成と期間

本プランは、本市商工業の現状と課題、ポテンシャルを整理し、商工業の将来像と、その実現に向けた商工業振興の方向性で構成される「基本構想」、商工業振興の方向性に基づく基本方針、推進施策からなる「アクションプラン（行動計画）」、将来像の実現に向けて重点的かつ戦略的に取り組む施策を掲げた「戦略プロジェクト」、成果指標や推進体制からなる「商工業振興プランの推進に向けて」により構成されます。

本プランの計画期間は、平成23年度を初年度とし、平成33年度までの11年間とします。

なお、今後の社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等も踏まえ、プランを変更する必要がある場合には見直しを行います。

1. 本市商工業の将来像

本市商工業を取り巻く社会経済情勢の変化や本市商工業の現状及び特徴、商工業事業者が抱える課題を踏まえ、商工業振興に係るポテンシャルを最大限に生かすことを視野に入れて、本市商工業の将来像を以下のとおり設定します。

多彩な人と 豊かな資源で 織りなす
にぎわい活力都市・かごしま

本市商工業が将来に向けて、持続的に発展していくため、多様な業種の様々な能力・技術を有する「多彩な人」が、農林水産物、自然風土、歴史・文化、伝統技術などの「豊かな資源」を最大限に生かし、多様な主体との連携・協働等により、新たな魅力・価値を「織りなす」ことで、南九州の中核都市として、「にぎわいと活力」あふれるかごしまの創造を目指します。

鹿児島市商工業振興プランの概要2

アクションプラン(行動計画)

来像の実現に向けて、工業振興の方向性を設定

商工業振興の方向性

方向性 1

かごしまの地域資源・特性を生かした産業の活性化

方向性 2

かごしまの将来を牽引する新たな産業の創出

方向性 3

かごしまを支える産業の成長促進

方向性 4

かごしまの将来を担う企業・人材の育成

基本方針

基本方針 1 かごしまの農林水産資源等の「素材」を生かした産業振興
都市間競争が激化する中で本市の優位性を発揮するため、豊かな農林水産資源が集まる強みを生かし、これらを活用した新商品・サービスの開発や販路拡大などを促進する「かごしまの農林水産資源等の「素材」を生かした産業振興」に取り組みます。

基本方針 2 国内外との「交流」、「観光」を生かした産業の活性化
新幹線の全線開業や海外とのネットワークを生かし、交流人口の増加に伴う市内における消費を促進するとともに、多様な都市間交流を生かして企業活動の活性化を図るなど、「国内外との「交流」、「観光」を生かした産業の活性化」に取り組みます。

基本方針 3 アジアへの近接性などを生かした「海外取引」の強化
貿易・流通関連基盤の機能強化や整備促進を図るほか、海外取引に関する支援機関等との連携のもと、海外への販路拡大を図るなど「アジアへの近接性などを生かした「海外取引」の強化」に取り組みます。

基本方針 1 「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出
地球環境問題の深刻化や少子高齢化の進行などが見込まれる中、本市の特性や地域資源を生かした取組みをさらに進めるとともに、企業間や産学間のネットワーク強化により、新産業創出に向けた取組みの促進や関連する企業立地推進など、「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出」に取り組みます。

基本方針 2 新産業創出のための「多様な連携」の強化
事業者と地域に存在する学術・研究機関等のネットワークを強化し、成長分野に関連する技術革新や新商品・サービスの開発、販路開拓などの新産業創出に関する取組みを促進するため、産学官が連携して、情報の共有化や提供を行うなど、「新産業創出のための「多様な連携」の強化」に取り組みます。

基本方針 1 地域の特性やニーズに対応した商業・サービス業の活性化
天文館をはじめとする中心市街地や地域の買い物場である商店街などについて、南九州における商業・サービス業の中心地としての機能の充実や快適な買い物環境を整備するとともに、様々な生活情報を得ることのできる地域コミュニティの場としての役割を維持・強化していくため、市民、事業者、行政機関などが一体となって「地域の特性やニーズに対応した商業・サービス業の活性化」に取り組みます。

基本方針 2 事業革新等による「ものづくり」、「伝統産業」の活性化
本市のものづくり産業や伝統産業は、厳しい事業環境を克服するため、地域資源を生かした新たな取組みが必要になっていることから、意欲のある事業者の商品開発や製品の付加価値化、販路拡大の促進など、「事業革新等による「ものづくり」、「伝統産業」の活性化」に取り組みます。

基本方針 3 都市機能の集積を生かした産業の振興
本市の都市機能の集積を生かした「情報関連」や「コンテンツ」、「デザイン」などの知識集約型産業を育成・支援するとともに、コールセンター業などの企業立地推進に取り組むなど、「都市機能の集積を生かした産業の振興」に取り組みます。

基本方針 1 企業経営の「安定と革新」
本市商工業の大部分を占める中小企業の経営力の向上を図るため、中小企業の経営基盤の強化や事業承継の円滑化、生産性向上の促進など、「企業経営の「安定と革新」」に取り組みます。

基本方針 2 関係機関の「ネットワーク」の強化
本市には、中小企業等の経営や事業展開を支援する多様な機関が集積し、それぞれが各種支援に取り組んでおり、各機関が持つ支援内容や情報を共有し、相互に連携させることで、事業者にとってさらに効率的・効果的な支援となることから、「関係機関の「ネットワーク」の強化」に取り組みます。

基本方針 3 「チャレンジ」への支援と「人材」の育成・確保
働く意欲を持つ全ての人が個々の能力を生かし、いきいきと働くことのできる社会を目指し、企業が求める人材の育成や市内企業への就労促進など、「「チャレンジ」への支援と「人材」の育成・確保」に取り組みます。

戦略プロジェクト

戦略プロジェクト 1 “豊富な食資源を最大限生かす” 『“食の都 かごしま”創造プロジェクト』

かごしまの豊かな農林水産資源や知名度の高い「食」の存在、食料品製造業の集積など本市の強みや特性を最大限生かし、農工商等の事業者間の連携を促進することにより、新たな商品・サービスの開発や積極的な販路拡大を進めます。さらに、「食」に関するプロモーションの充実やブランド力強化への取組みを推進し、「食の都」としての知名度を高め、商工業の活性化を図ります。

【主な取組内容】

- 農工商等連携による新製品開発促進のための交流機会の提供や取組みへの支援
- 新製品開発等に対する支援
- “美味のまちかごしま”を体感できるような食の新メニュー開発やイベント等の開催
- 事業者の食品見本市等への出展の促進など販路拡大に向けた取組みに対する支援
- 鹿児島の食資源のPR等による企業立地に向けた活動の充実、優遇制度の充実

戦略プロジェクト 2 “大交流時代、国内外に存在感をアピール” 『“外貨”獲得プロジェクト』

九州新幹線の全線開業による交流人口の増加や近接しているアジア諸国の急速な経済成長という絶好の機会を捉え、国内外への積極的なプロモーションによる観光客等の誘致や商品・サービスのPRを進めます。さらに、観光客等の受入体制の充実やかごしまの豊かな地域資源を生かした観光ビジネスを創出することにより、市内における消費の増加を図るとともに、事業者の海外市場に向けた販路開拓を支援するなど、市域外からの“外貨”獲得に取り組みます。

【主な取組内容】

- 新幹線沿線都市やアジア主要都市への重点的なプロモーションの推進
- 観光客受入体制の充実(銀聯カード決済システム導入、接遇・通訳の充実など)
- グリーン・ツーリズムなど新たな観光ビジネスの創出・促進
- 都市間連携による事業者の製品・技術等の合同プロモーションを通じた販路拡大
- 事業者の海外見本市等への出展の促進など販路拡大への支援
- 事業のグローバル展開を支える人材の育成

戦略プロジェクト 3 “地域資源を生かし、未来を切り拓く” 『新産業創出プロジェクト』

少子高齢化の進行や地球環境問題の深刻化、消費者ニーズの多様化など社会経済情勢の変化を踏まえ、今後さらに需要の拡大が見込まれる「環境」、「健康」などの成長分野における産学官の様々な主体の連携・協働を促進します。また、本市の特性や地域資源を最大限に活用し、新たな付加価値を生み出す取組みを進めることにより、本市商工業の将来を担う産業の活性化や雇用の創出を図ります。

【主な取組内容】

- 「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出に向けた研究会の設置及び推進体制の整備
- 事業者による共同研究開発など新産業創出に関連する取組みへの支援
- トライアル製品の利用促進など販路拡大への支援
- 成長分野に関連する立地企業の優遇制度等の充実

「商工業の将来像」の実現に向け、重点的かつ戦略的に取り組む施策

鹿児島市商工業振興プランの概要 3

I 成果指標

本プランの達成状況や効果を測るための指標として、「成果指標」を以下の通りとします。

「かごしまの地域資源・特性を生かした産業の活性化」に関連する成果指標

指標項目	基準年	実績値	目標年	目標値
食料品製造業における粗付加価値額 (従業者4人以上)	平成20年	46,232 (百万円)	平成33年	49,600 (百万円)
海外の見本市等への延べ出展事業者数	平成21年度	58(社)	平成33年度	68(社)

「かごしまの将来を牽引する新たな産業の創出」に関連する成果指標

指標項目	基準年	実績値	目標年	目標値
産学連携等により製品・商品化された 件数	平成19～ 22年度	14(件) (累計)	平成23～ 33年度	88(件) (累計)
トライアル発注制度認定件数	平成20～ 22年度	14(件) (累計)	平成23～ 33年度	66(件) (累計)

「かごしまを支える産業の成長促進」に関連する成果指標

指標項目	基準年	実績値	目標年	目標値
卸売業・小売業の年間商品販売額	平成19年	2,536,515 (百万円)	平成33年	2,540,000 (百万円)
製造品出荷額等(従業者4人以上)	平成20年	378,471 (百万円)	平成33年	400,000 (百万円)
企業立地件数	平成20～ 22年度	10(件) (累計)	平成23～ 33年度	44(件) (累計)

*企業立地件数の実績値は平成22年9月末時点。

平成27年度
引上げ → 78(件)
(累計)

「かごしまの将来を担う企業・人材の育成」に関連する成果指標

指標項目	基準年	実績値	目標年	目標値
事業所数(民営) ※農林漁業を除く	平成18年	29,057 (事業所)	平成33年	30,000 (事業所)
従業者数(民営) ※農林漁業を除く	平成18年	257,941 (人)	平成33年	259,000 (人)

平成27年度
引上げ → 283,000
(人)

II 商工業振興プランの推進体制

本プランの着実な推進を図るため、プランに掲げた施策の実施状況や成果指標の達成状況等を報告し、施策の見直しや新たな施策展開等について意見・提案をいただくため、学識経験者、経済団体、行政等で構成する「鹿児島市商工業振興プラン推進会議(仮称)」を設置します。

- 施策の進捗状況の把握
- 成果指標の達成状況の把握
- 状況の変化に応じた施策などの見直し
- 状況の変化に応じた新たな施策などの提案
- 社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等を踏まえたプランの見直し検討 など